

01 良い声を出すためのメカニズム

「声」とは人が一生付き合っていく大事なものです。心地よく声を出したり、楽しく歌えたり、またトラブルが起きた場合にはどのように対応するべきか等、声を出すために身体をどのように使うのか、専門的な立場から解説をいたします。

講 師

井上 敏典 教授

専 門 分 野

声楽、オペラ

現在の研究テーマ

歌と表現のための発声法

担 当 科 目

専門実技 声楽、オペラ

出 講 可 能 日

金曜日

講義に必要な機材

ピアノは必須、プロジェクター、スクリーン又はホワイトボードか黒板

02 作曲、和声、対位法などのレッスン

作曲、及び作曲するに必要とされるエクリチュールなどのレッスンを行います。作曲に興味をもっている初心者の方も受講可能です。受講希望者は、勉強した和声・対位法・コラール・フーガなどのノートや最近の作品などを持参してください。

講 師

葛西 聖憲 特任教授

専 門 分 野

作曲

現在の研究テーマ

音楽の創作

担 当 科 目

サウンドデザイン研究、音楽創作演習

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

ピアノ

03 ピアノの実技指導

任意のピアノ曲のレッスンを行います。楽譜の読み方、作曲家による表現や演奏法の違い、自然で無理のない身体の使い方などの観点からアドバイスします。

講 師

河江 優 教授

専 門 分 野

ピアノ

現在の研究テーマ

美しい響きを生むピアノ奏法

担 当 科 目

専門実技 ピアノ、ピアノ奏法基礎

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

グランドピアノ

研究テーマの詳細



04 音楽療法ってなんだろう？

リズムに沿って体が動く、メロディーに感情が動かされる、懐かしい歌で当時を思い出し、音楽で一体感を感じ、歌に勇気づけられるなど、音楽はさまざまな働きをもっています。音楽療法を受けられる方は、病気や障がいを持つ方だけでなく、一見健康的に見える方であっても“セラピーを必要とする方”がその対象者です。音楽の働きを利用して、人が本来持っている「生きようとする力」を引き出し、支え、人生の質を高めることをサポートするのが音楽療法士の仕事です。

講師
北脇 歩 准教授

専門分野
エンドオブライフ・ケアにおける音楽療法

現在の研究テーマ
音楽体験を用いた意味中心心理療法

担当科目
音楽療法基礎、音楽療法演習

出講可能日
月曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、ピアノ

研究テーマの詳細



05 「気持ちを込める」演奏方法

どのようにしたら音楽に「気持ちを込める」ことができるのでしょうか。教材を実際に歌ってみて一緒に考えてみましょう。

講師
松下 悦子 教授

専門分野
声楽

現在の研究テーマ
歌うことにおける詩（言葉）の表現法

担当科目
専門実技 声楽、ドイツ語声楽曲研究

出講可能日
月曜日

講義に必要な機材
ピアノ（電子鍵盤楽器でも可）

06 クラシック音楽における楽曲形式

クラシック音楽における代表的な楽曲形式について学ぶ。音楽を聴きながら譜例の分析を行う。

講師
成田 和子 特任教授

専門分野
作曲

現在の研究テーマ
音楽創作とテクノロジー

担当科目
サウンドデザイン研究、作曲法（編曲法を含む）

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

研究テーマの詳細



07 ピアノの実技指導

「ロシアン・アメリカンにおけるピアノイズムの伝統」を任意の曲で指導します。ロシアンスクールによる腕や身体の重みを使った深い音色の出し方や様々な音楽の表現法から、アメリカのジャズクラシックカルチャーまで、幅広く作曲家達のバックグラウンドにも沿ったピアノ曲への理解を深めます。ご要望があれば通訳が同行します。

講 師

ベサリアン ラフィ 特任教授

専 門 分 野

ピアノ

現在の研究テーマ

ラフマニノフに影響を受けた
20 世紀のアルメニア作曲家たち

担 当 科 目

専門実技 ピアノ、鍵盤楽器奏法研究

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

グランドピアノ

08 スペイン近現代の音楽

スペインの音楽というとフラメンコなどが思い浮かびます。そのようないわゆる「スペイン風」と、本来のスペイン人の音楽との関係はなかなか複雑です。スペイン近現代の音楽家たちをそのような観点からご紹介します。

講 師

椎名 亮輔 教授

専 門 分 野

音楽学

現在の研究テーマ

フランス・スペイン近現代音楽

担 当 科 目

ミュージックスタディーズ研究、音楽美学

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、
ピアノ、CD プレーヤー

09 心を通わす音楽～自分の中の音楽と出会う～

音楽は、時に言葉にならない気持ちを代弁してくれます。心を通わすコミュニケーションの手段として、音楽は太古から人間の生活に寄り添ってきました。現代では、医療・福祉・教育の現場で、病や障害のある人の心と身体へのケアとして音楽療法が実践されています。誰にでもある音楽性、それを引き出すことが健康の鍵である、という音楽療法の考えを元に、ミュージシャンで認定音楽療法士でもある講師と、講義やワークショップを通じて、自分の中の音楽を探索してみませんか。きっと新しい音楽の世界が開けるはずです。

講 師

鈴木 琴栄 助教

専 門 分 野

音楽療法

現在の研究テーマ

即興を用いた音楽心理療法

担 当 科 目

音楽療法演習、ミュージックセラピー研究

出 講 可 能 日

春学期：月・火・水・木曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、ピアノ、
楽器（もしあれば、なければOK）

10 楽器から音楽史を見つめてみよう

約 300 年前に誕生したピアノは、地域や時代の潮流に合わせて変化し、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ショパン、リスト、ドビュッシーなど多くの作曲家に影響を及ぼしてきました。この授業では、楽器の発展が当時の文化や社会、作曲法や演奏法とどのように関わっていたのかを多角的な視点で考えます。

講 師

筒井 はる香 准教授

専 門 分 野

音楽学

現在の研究テーマ

楽器製作の技術史・文化史

担当科目

音楽科教科教育法、音楽史（ロマン派）

出 講 可 能 日

木・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、
パソコン

研究テーマの詳細



11 「吹奏楽合奏指導」「ユーフォニアム演奏法」

「吹奏楽合奏指導」は、吹奏楽部の合奏を指導します。「ユーフォニアム演奏法」はユーフォニアムの奏法のチェック、基礎テクニック、楽曲の演奏などを指導します。

講 師

牛渡 克之 教授

専 門 分 野

ユーフォニアム、指揮

現在の研究テーマ

ユーフォニアム演奏・指揮演奏

担当科目

吹奏楽、専門実技 ユーフォニアム

出 講 可 能 日

木曜日午後、
土・日曜日・祝日

講義に必要な機材

指導を受ける生徒等は楽器を
準備出来ることが前提です。

研究テーマの詳細



12 バイオリンの演奏法と合奏法

バイオリンの演奏法、あるいは弦楽器を中心とするアンサンブルレパートリーを実践的に学びます。

講 師

山本 裕樹 教授

専 門 分 野

バイオリン演奏

現在の研究テーマ

バイオリン演奏

担当科目

専門実技 バイオリン、室内楽

出 講 可 能 日

不定期（個別に対応）

講義に必要な機材

各自で楽器を準備できることが
前提です。

研究テーマの詳細

